

Ozobot (オゾボット) でプログラミング I



オゾボット

プログラムで動く小さなロボットです



電源ボタン

前

オゾボットは動くおもちゃです

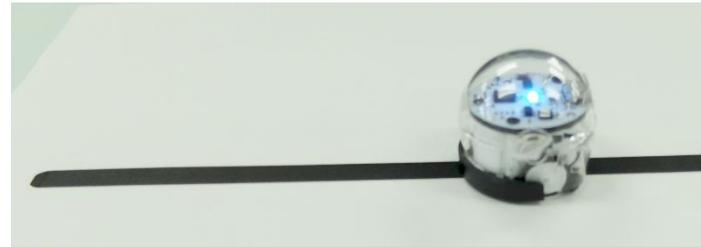
オゾコードで動かす

オゾブロックリーで動かす

オゾコードで動かす

オゾボットは5ミリ程度の太い線の上を動きます。

なにもなければ適当に動いたり突然止まったり、ランダムに動きます。

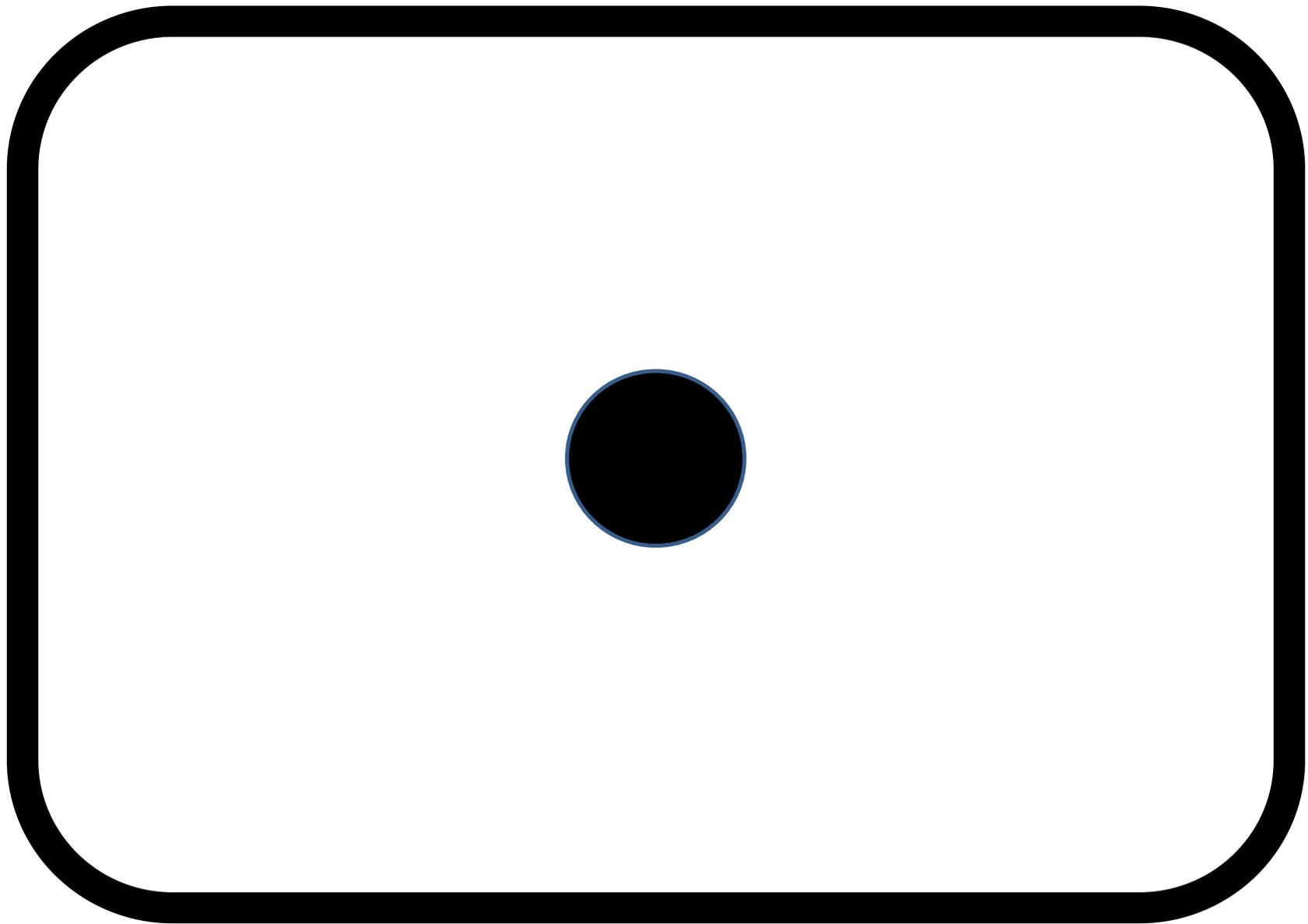


キャリブレーション（オゾボットの準備）

次ページを印刷して、真ん中の黒丸の上にオゾボットをおき、電源ボタンを2～3秒押し続けてはなします。

上のランプが白→青→緑に変わると準備OKです。

電源ボタンを一度押して、周りの太い線上にオゾボットを置きます。



オゾボットは線の色にも反応します。

次ページを印刷して、マーカーで指定した色を塗ってみましょう。

赤・青・緑・黄のマーカーで線を塗ります。
(プロッキーやマーキーがいいようです。)

2つ先のページをカラープリンターで印刷してもOKです。

できたら、電源ボタンを一度押して、線上にオゾボットを置きましょう。

オゾボットの上のランプが線の色と同じに変わっていきます。

赤

黄

青

緑



オゾコード（カラーコード）

オゾボットは、色の並べ方でいろいろな動きをします。



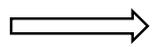
左のような、黒線上に「赤・黒・赤」の組み合わせでは、この上をオゾボットが通過すると、スピードがゆっくりになります。



また、黒線上に「青・緑・赤」の組み合わせでは、この上をオゾボットが通過すると、スピードがとても速くなります。

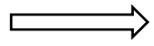
このように、黒・赤・青・緑・の色を2つから4つ組み合わせると、いろいろな動きになります。配列だけでなく色の間隔も大事です。色の範囲が長すぎるとコードとして認識されません。

次ページを印刷してマーカーで色を塗ってオゾボットを動かしてみましよう。



赤・黒・赤

青・緑・赤

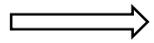
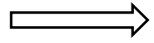


青・黒・緑・赤

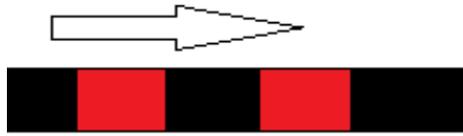
赤・緑・赤・緑



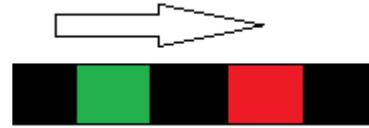
カラープリンター用



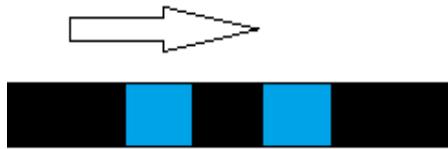
カラーコード例



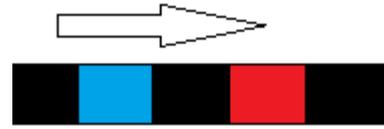
ゆっくり



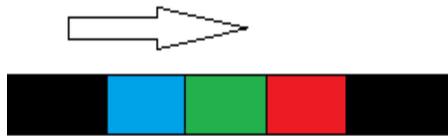
次の交差点で
左へ進む



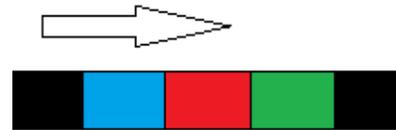
速い



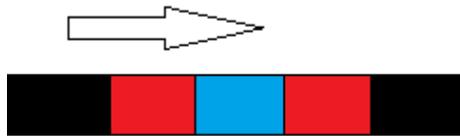
次の交差点で
直進する



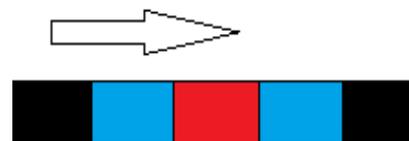
とても速い



次の交差点で
右へ進む



3秒間止ま
る



Uターンする

「カラーコードシール」というものも販売されています。

次のページを印刷して、オゾボットをうまくゴール
させてみましょう。



3秒間止まる

ゴール



ゆっくり



いそぐ

スタート



3秒間止まる

ゴール



ゆっくり



いそぐ

スタート

参考



電源を入れたとき上のランプが赤色で点滅していれば、バッテリーが少なくなっているサインです。



USBコードを接続して充電しましょう。

充電中は上のランプがいろいろな色で点滅します。
ランプが緑色で点灯すれば、充電完了です。

